

②⑤ 訪問歯科衛生指導の推進

第1 基本的な考え方

在宅患者等の訪問歯科衛生指導を推進する観点から、訪問歯科衛生指導料について要件及び評価を見直す。

第2 具体的な内容

1. 終末期の悪性腫瘍の患者等、緩和ケアを受けている患者に対して、訪問歯科衛生指導を行う場合の訪問歯科衛生指導料の算定回数制限を見直す。
2. 訪問歯科衛生指導が困難な者に対して、歯科衛生士等が複数名で訪問する場合の評価を新設する。
3. 訪問歯科衛生指導の実態を踏まえ、訪問歯科衛生指導料の評価を見直す。

改 定 案	現 行
<p>【訪問歯科衛生指導料】</p> <p>1 単一建物診療患者が1人の場合 362点</p> <p>2 単一建物診療患者が2人以上9人以下の場合 326点</p> <p>3 1及び2以外の場合 295点</p> <p>[算定要件]</p> <p>注1 歯科訪問診療を行った歯科医師の指示に基づき、歯科衛生士、保健師、看護師又は准看護師が訪問して療養上必要な指導として、単一建物診療患者（当該患者が居住する建物に居住するもののうち、当該保険医療機関が歯科訪問診療を実施し、歯科衛生士等が同一月に訪問歯科衛生指導を行っているものをいう。）又はその家族等に対して、当該患者の口腔内の清掃（機械的歯面清掃を含む。）、</p>	<p>【訪問歯科衛生指導料】</p> <p>1 単一建物診療患者が1人の場合 360点</p> <p>2 単一建物診療患者が2人以上9人以下の場合 328点</p> <p>3 1及び2以外の場合 300点</p> <p>[算定要件]</p> <p>注1 歯科訪問診療を行った歯科医師の指示に基づき、歯科衛生士、保健師、看護師又は准看護師が訪問して療養上必要な指導として、単一建物診療患者（当該患者が居住する建物に居住するもののうち、当該保険医療機関が歯科訪問診療を実施し、歯科衛生士等が同一月に訪問歯科衛生指導を行っているものをいう。）又はその家族等に対して、当該患者の口腔内の清掃（機械的歯面清掃を含む。）、</p>

<p>有床義歯の清掃指導又は口腔機能の回復若しくは維持に関する実地指導を行い指導時間が20分以上であった場合は、患者1人につき、月4回に限り算定する。なお、当該歯科衛生指導で実施した指導内容等については、<u>当該患者又はその家族等</u>に対し文書により提供する。</p> <p><u>2 区分番号C000に掲げる歯科訪問診療料を算定した患者であって緩和ケアを実施するもの</u>に対して行った場合には、<u>注1の規定にかかわらず、月8回に限り算定する。</u></p> <p><u>3 1については、訪問歯科衛生指導が困難な者等</u>に対して、<u>保険医療機関の歯科衛生士等が、当該保険医療機関の他の歯科衛生士等と同時に訪問歯科衛生指導を行うことについて、当該患者又はその家族等の同意を得て、訪問歯科衛生指導を実施した場合（区分番号C000に掲げる歯科訪問診療料を算定する日を除く。）</u>には、<u>複数名訪問歯科衛生指導加算として、150点を所定点数に加算する。</u></p> <p><u>4・5</u> (略)</p>	<p>有床義歯の清掃指導又は口腔機能の回復若しくは維持に関する実地指導を行い指導時間が20分以上であった場合は、患者1人につき、月4回に限り、<u>算定する。</u>なお、当該歯科衛生指導で実施した指導内容等については、<u>患者</u>に対し文書により提供する。</p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p><u>2・3</u> (略)</p>
---	--